

4.5 医療・介護 Medical Care/Long-term Care

介護現場の誤薬を防止する服薬介助支援ツール“めでいさぼ”

Tools to Prevent Medication Errors in Care Settings "MEDI-SAPO"

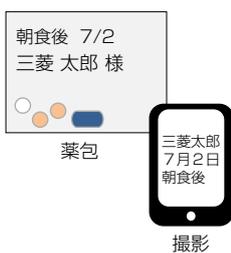
介護施設での事故の一つに誤薬がある。中でも、薬の渡し間違いは許されないため、服薬介助は職員によるダブルチェック、トリプルチェックの上で行われている。

三菱電機ITソリューションズ(株)では、顔認証で本人確認することで薬の渡し間違いを防ぐ、服薬介助支援ツール“めでいさぼ”を開発した。めでいさぼは、一包化された薬

の袋に印刷された氏名をAI-OCRで読み取って、顔認証の結果と照合し、その薬を本人に渡すことができているかをチェックするアプリケーションである。誰が、いつ、誰の薬を、誰に渡したか、服薬介助のエビデンスとして記録を残すことができる。めでいさぼは事故防止と職員の業務負荷、精神的負荷軽減で介護現場に貢献する。

3ステップで簡単に渡し間違いをチェック

1 薬を撮る



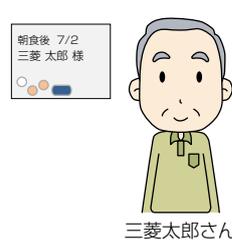
服薬介助する職員を選択し、薬包を撮影して文字認識で誰の薬か読み込む。

2 顔を撮る



AIによる顔認証で本人確認を行い、薬と利用者を突合してチェック。与薬の日時も記録される。

3 薬を渡す



突合の結果が正しければ、薬を渡す。

めでいさぼの使い方

<取り扱い：三菱電機ITソリューションズ(株) TEL：03-5309-0626>

電子処方箋向け電子署名ライブラリー“MELSIGN”

E-Signature Library for Electronic Prescriptions

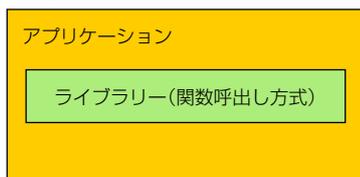
2023年1月から電子処方箋が運用開始された。電子処方箋には発行した医師及び調剤した薬剤師の電子署名が必要である。電子署名を医療機関向けシステムで実現するために電子署名ライブラリーを数社が提供しているが、アプリケーションへの組み込みが面倒という課題があった。

三菱電機ITソリューションズ(株)では、電子処方箋向け電子署名ライブラリー“MELSIGN”を開発した。これに

よって、次のメリットを医療機関や調剤薬局へ提供可能にした。

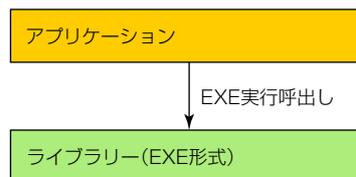
- (1) アプリケーションから独立したEXE起動形式のため、実装やライブラリーのバージョンアップが容易である。
- (2) PIN(Personal Identification Number)情報を保持することで、PIN入力の手間を軽減する。

他社製ライブラリー



- ・ライブラリーを関数呼出しするため実装が複雑
- ・ライブラリー変更時に再コンパイルが必要
- ・PIN番号はアプリケーションで管理

MELSIGN



- ・ライブラリーをEXE実行呼出しするため実装が容易
- ・ライブラリー変更時に再コンパイルが不要
- ・PIN番号はライブラリーで管理

MELSIGNと他社製ライブラリーの比較

<取り扱い：三菱電機ITソリューションズ(株) TEL：050-3116-7090>